

命と平和について考える～平和集会～

8月6日、広島原爆記念日に平和集会を計画していたところ、台風接近のため開催できずにいましたが、8月20日の本日、実施の運びとなりました。講師に鹿島市の今村孝治さんを招き、長崎に原爆が投下された8月9日から3日後の12日に、肥前鹿島駅に搬送されてきた被災者の方々を鹿島小学校の講堂まで運んだ体験から、平和の尊さについて当時の写真等を用いながらお話しいただきました。

当時、今村さんは中学1年生。鹿島小学校までリヤカーに乗せて運んだ尊い命は約60人。病院に送られる方、命の炎が尽きた方それぞれを見送ったということです。8月30日には講堂は閉鎖されたそうです。ひもじい思いをされた体験や空襲を受けた浅浦地区の話、灯火管制による真っ暗な夜の体験談など、「命と平和について」生徒たちの心にいつまでも残るであろうひと時でした。

